

情報環境が充実した空間

幼児の興味関心を広げるための整備



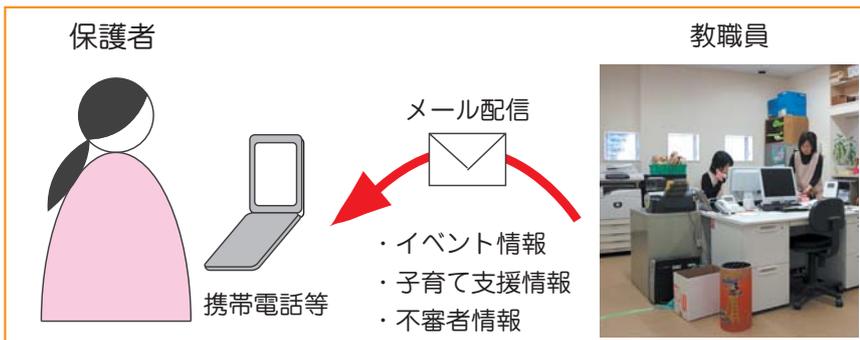
1 文京学院大学ふじみ野幼稚園 ホールに設置されたプロジェクタの映像を教材として活用

園長の視点から

ホールにプロジェクターとスクリーンが設置されており、海外の美しい景色や珍しい動物の映像等を映し出して教材として用いています。運動会のダンスの練習時には、相撲の四股の動作を取り入れる際にプロジェクターを活用し、幼児たちはスクリーンの映像に合わせてながら体を動かしています。

(文京学院大学ふじみ野幼稚園)

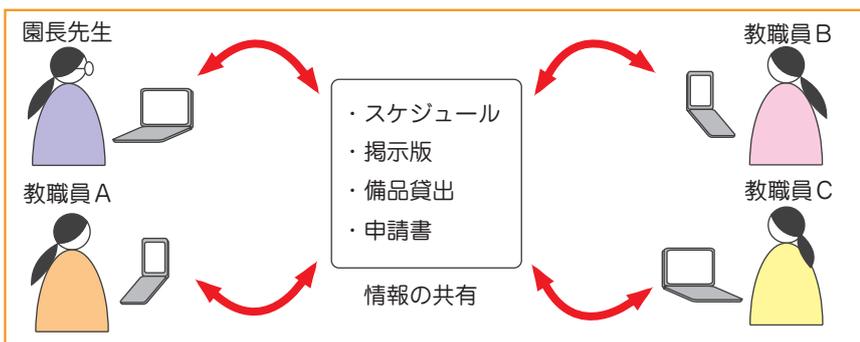
校務情報化を推進するための整備



2 高千穂幼稚園 メール配信サービスによる保護者への情報提供

保護者を対象にメール配信サービスを行っています。園内のイベントについての日程・詳細内容等の情報を希望した保護者宛に定期的に配信しています。多くの保護者は携帯電話でのメール受信を希望し、いつでも幼稚園の行事日程等が確認ができるため便利という声も頂いています。また、子育て支援に関する情報も定期的に配信しており、好評です。

(高千穂幼稚園)



3 中島村立中島幼稚園 グループウェアによる教職員の情報共有

教職員は全員グループウェアに登録しており、インターネット上で園内のスケジュール管理、掲示板、備品の貸出管理、申請書の提出等が可能となっています。教職員は自宅のPCや携帯電話からもログインが可能ですので、全職員が同じ情報を同時に共有することができ、職務の効率向上しています。

(中島村立中島幼稚園)

〈設計者の視点から〉

●情報環境の充実の観点から

ホールにはプロジェクタ、スクリーン、スピーカー等の映像設備や音響設備を充実させています。またLANにより、PCをプロジェクタに接続しながらサーバーのデータを扱うこともできるようにしています。(写真1)

●音環境への配慮

ホールは幼児の運動、表現活動等、多様な活動に対応できるよう、吸音材を用いたり、保育室との配置関係を工夫したりするなど音環境に配慮した計画としています。

(文京学院大学ふじみ野幼稚園)